

令和 8 年度 学習の手引き

教科名	商業	年次	3学年	使用 教材	[教科書]簿記
科目名	簿記	選択			[ワーク]全商簿記3級 論点別NEWステップアップ問題集
		単位	4		[ツール]Funda簿記

科目の目標

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、取引の記録と財務諸表の作成に必要な資質・能力を育成することを目指す。

学習方法

実習を行い、簿記の全体像をつかむ。

学習到達の目標として、検定試験にも挑戦します。
(全経簿記3級または、日商簿記3級)

評価の観点

次の観点に基づき、単元または内容のまとまりごとに評価を行います。前期末にはそれらを総括して評価を行います。学年末は1年間を総括して評定を出します。

評価の観点		評価の観点の趣旨
①	知識・技能	簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。
②	思考・判断・表現	取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を身に付けている。
③	主体的に学習に取り組む態度	企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

評定への総括

評語	評価	評定
A A A	10 / 9	5
A A B	8	4
A B B	7	
A A C		
A B C	6 / 5	3
B B B	5	
B B C	4 / 3	2
A C C	3	
B C C	2 / 1	1
C C C	1	

評価方法

評価方法\観点	①	②	③	備考
学習状況の観察			◎	学習状況、学習意欲など
単元テスト	◎	○		単元テストにおける到達度
小テスト	○			学習状況の確認
ワーク		◎		ワーク、ツール、思考問題、発表など
検定試験に対する姿勢			○	継続的な基礎力向上

◎特に重視する点

内容のまとめりごとの評価規準

科目名：簿記

評価の観点		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容のまとめり				
1	簿記の基礎	簿記の原理について理解するとともに、関連する技術を身に付けているか。	取引を記録することと決算の意義について、企業活動の展開と関連付けて見いだせるか。	ワーク実習の取り組み具合。
2	取引の記帳 決算	取引の記帳について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けているか。 決算について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けているか。	取引の記帳法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応できるか。 決算の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応できるか。	ワーク・ツール実習の取り組み具合。 検定試験に対する姿勢。

年間学習計画

教科(商業)学年(3)
履修形態(選択)

科目(簿記)
単位(4)

学期	時	単元名 (内容のまとめ)	教材 題材	主な学習内容	育成する 資質・能力	主な評価方法	評価の 観点		
							①	②	③
前期	30h	簿記の基礎	教科書 ワーク	実習を通して、簿記の全体像を知る。 簿記の意味など基本的な知識を身に付ける。	・学ぶ力 ・判断力 ・コミュニケーション力	学習状況の観察			○
						単元テスト	○	○	
						ワーク			○
後期	90h	取引の記帳 決算	教科書 ワーク ツール	様々な取引について、事例を見ながら理解していく。 仕訳の概念について、反復学習を行い修得する まとめとなる決算に必要な知識を身に付ける。 決算の結果からどのようなことが読み取れるかを思考する。	・発見力 ・行動量 ・思考力 ・寛容力	学習状況の観察			○
						単元テスト	○	○	
						小テスト	○		
						ワーク・ツール			○

単元の計画

教科名	商業	対象学年・生徒	3学年 選択	
科目名	簿記	教材 題材	教科書 ワーク	育成する 資質・能力 ・学ぶ力 ・判断力 ・コミュニケーション力
単位数	4			
単元名	簿記の基礎			
内容のまとめ				
単元の目標	知識・技能 簿記の原理について理解するとともに、関連する技術を身に付けること。	思考・判断・表現 取引を記録することと決算の意義について、企業活動の展開と関連付けて見いだすこと。	主体的に学習に取り組む態度 ・簿記について関心を持ち、適正な会計処理を行うことをめざして主体的に取り組む態度をもち、会計処理を行う実践的な態度を身につけている。	
単元の学習内容	実習を通して、簿記の全体像を知る。 簿記の意味など基本的な知識を身に付ける。			
単元の評価規準	知識・技能 簿記の原理について理解するとともに、関連する技術を身に付けているか。	思考・判断・表現 取引を記録することと決算の意義について、企業活動の展開と関連付けて見いだせるか。	主体的に学習に取り組む態度 簿記の必要性と意義、目的、歴史等について自ら学び、適正な取引の記録と記録の効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	
主な評価方法	学習状況の観察			○
	単元テスト	○	○	
	ワーク		○	
配当時間	30時間			
補足等				

単元の計画

教科名	商業	対象学年・生徒	3学年 選択	
科目名	簿記	教材 題材	教科書	育成する 資質・能力
単位数	4		ワーク	
単元名	取引の記帳決算		ツール	
内容のまとめ				
単元の目標	知識・技能 取引の記帳について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けること。	思考・判断・表現 取引の記帳法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応すること。	主体的に学習に取り組む態度 取引の記帳について自ら学び、適正な会計帳簿の作成に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・発見力 ・行動量 ・思考力 ・寛容力
単元の学習内容	<p>様々な取引について、事例を見ながら理解していく。</p> <p>仕訳の概念について、反復学習を行い修得する</p> <p>まとめとなる決算に必要な知識を身に付ける。</p> <p>決算の結果からどのようなことが読み取れるかを思考する。</p>			
単元の評価規準	知識・技能 取引の記帳と決算について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けているか。	思考・判断・表現 取引の記帳法と決算の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応できるか。	主体的に学習に取り組む態度 取引の記帳と決算について自ら学び、適正な会計帳簿の作成に主体的かつ協働的に取り組もうとしているか。	
主な評価方法	学習状況の観察			○
	単元テスト	○	○	
	小テスト	○		
	ワーク・ツール		○	
配当時間	90時間			
補足等				